

2024年9月期 第3四半期 決算説明資料

三洋貿易株式会社（証券コード：3176）

2024年8月6日

2024年9月期 第3四半期 連結実績

- 計画進捗率：売上76%、営業利益86%と順調。営業利益率も前期比改善
- 修正計画達成に向けて特段の懸念はないが、事業環境の不透明さに鑑み、通期予想値は据え置く

(単位：百万円)	2023年9月期	2024年9月期			
	第3四半期	第3四半期		通期	
	実績	実績	前期比	修正計画 (2024/5/9公表)	進捗率
売上高	90,188	95,946	+6.4%	126,000	76.1%
売上総利益 (売上総利益率)	15,207 (16.9%)	16,696 (17.4%)	+9.8%		
販売費及び 一般管理費	10,012	10,819	+8.1%		
営業利益 (営業利益率)	5,195 (5.8%)	5,877 (6.1%)	+13.1%	6,800 (5.4%)	86.4%
経常利益 (経常利益率)	5,601 (6.2%)	7,293 (7.6%)	+30.2%	7,500 (6.0%)	97.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,705	4,722	+27.5%	4,900	96.4%
EPS(円)	128.90	164.07	-	170.22	-

※2024年9月期より、為替を年間の平均レートで換算しています(変更前：期末日の為替レート)。
それに伴い2023年9月期の実績を遡及修正しています。

セグメント別 決算サマリー

売上高 前年同期比

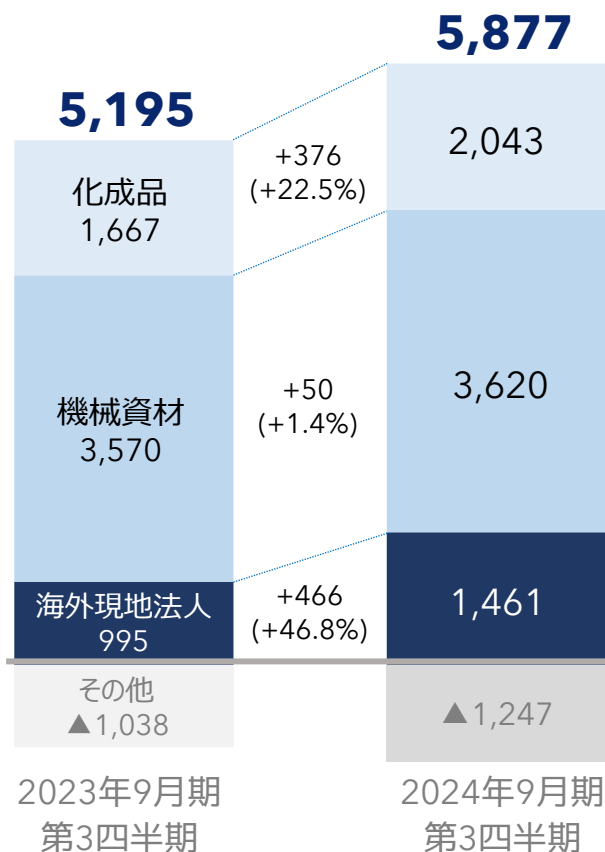
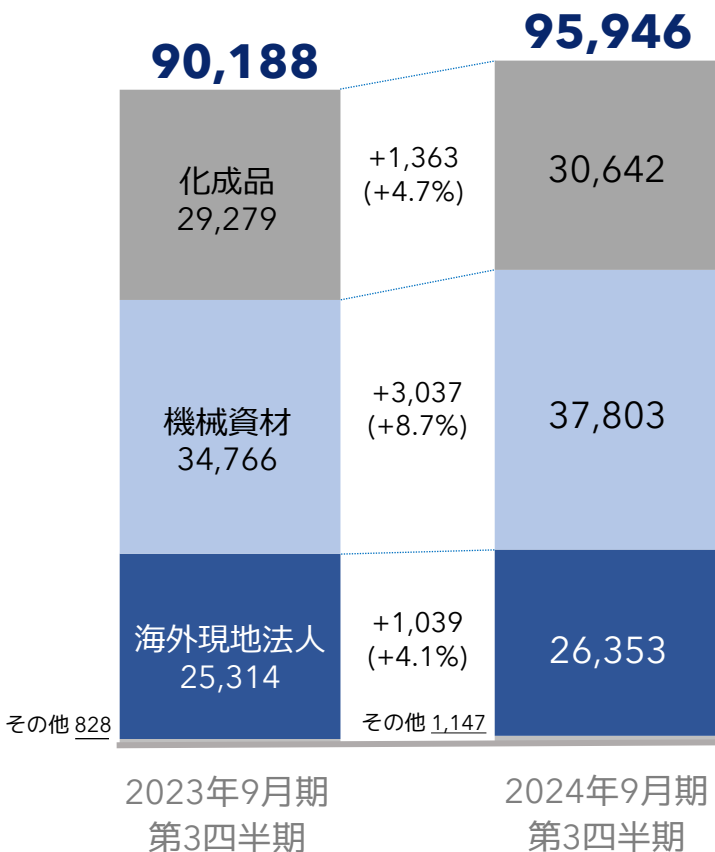
+57.5億円 (+6.4%)

営業利益 前年同期比

+6.8億円 (+13.1%)

(単位：百万円)

(単位：百万円)



化成品
増収・増益

機械資材
増収・増益

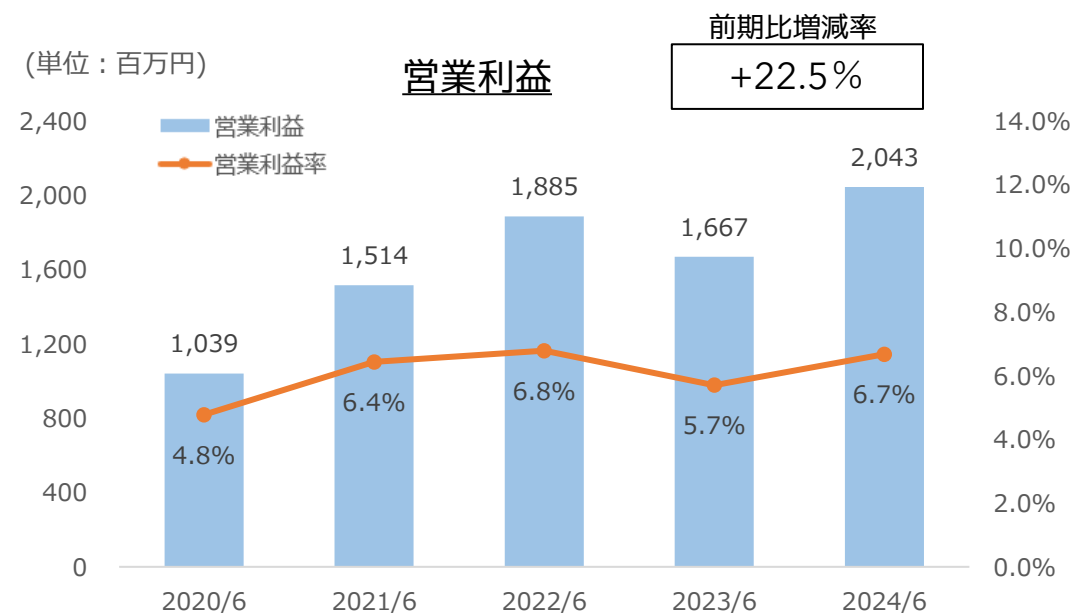
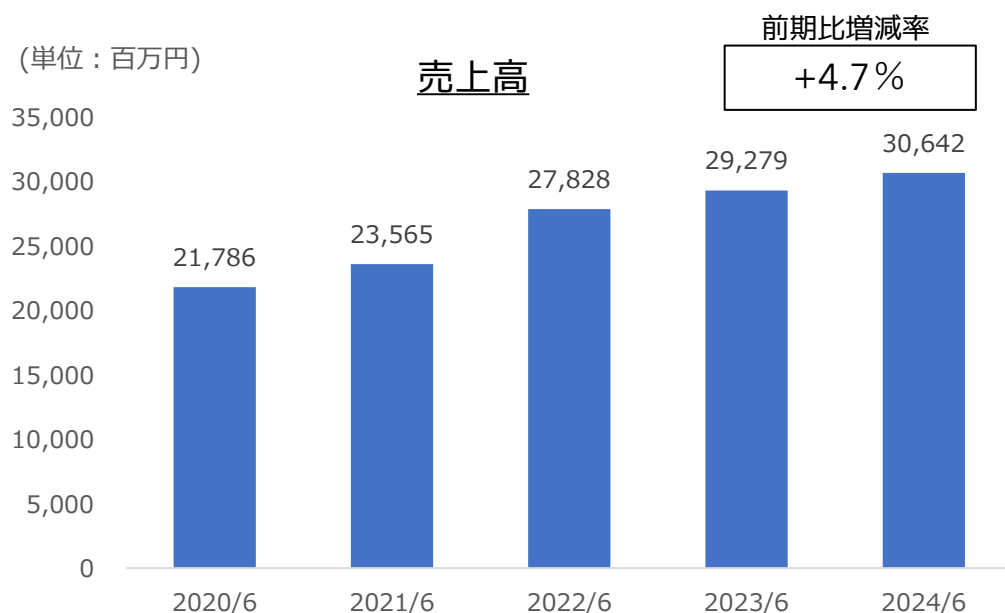
海外現地法人
増収・増益

※2024年9月期より、為替を年間の平均レートで換算しています
(変更前：期末日の為替レート)。
それに伴い2023年9月期の実績を遡及修正しています。

化成品セグメント

【ゴム事業部、化学品事業部、ライフサイエンス事業部（マテリアルソリューション：MS）及びグループ会社】

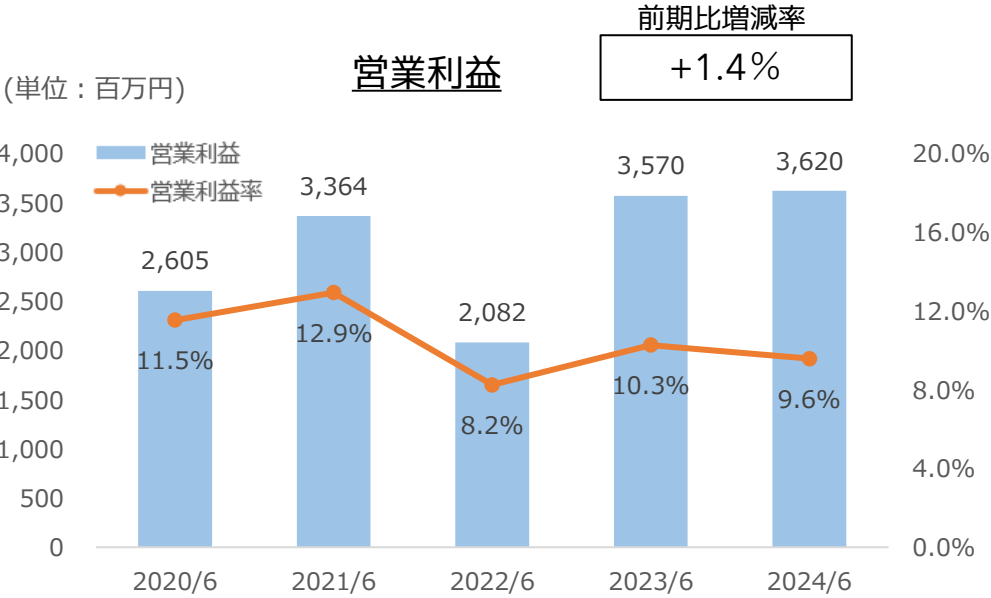
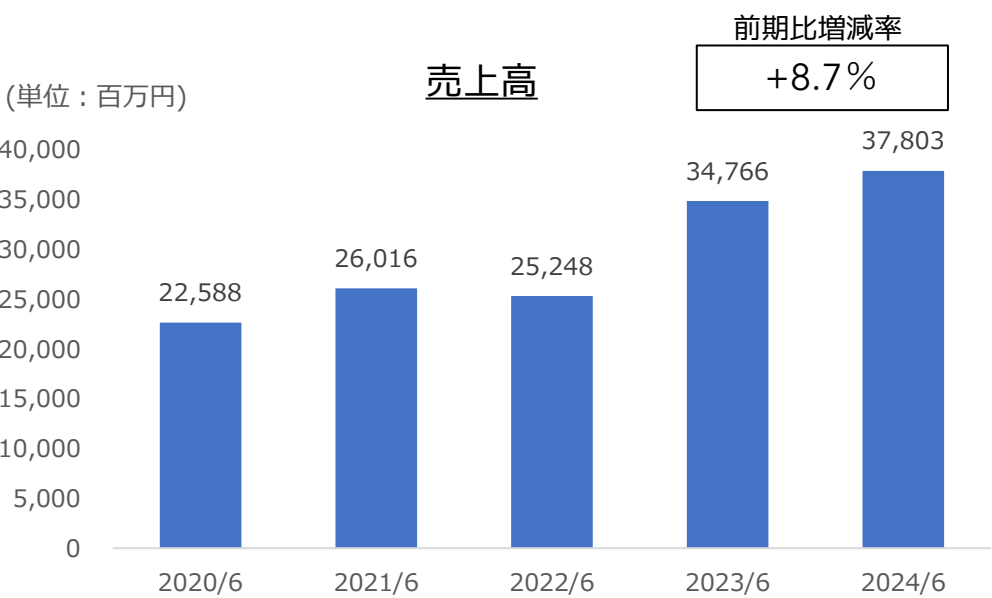
事業部	第3四半期の状況
ゴム	自動車の国内生産好調により原材料需要は回復基調を継続するものの、売上は前期比ダウン。他方、輸入品の販売価格見直しや高付加価値商材である副資材の販売増加で、利益は堅調に推移
化学品	主力商材の好調や価格見直しによる利益率改善が進み、売上、利益ともに好調
ライフサイエンス (MS)	電材や界面活性剤などの主力商材、掘削資材の新規商売が好調に推移し、売上、利益ともに堅調



機械資材セグメント

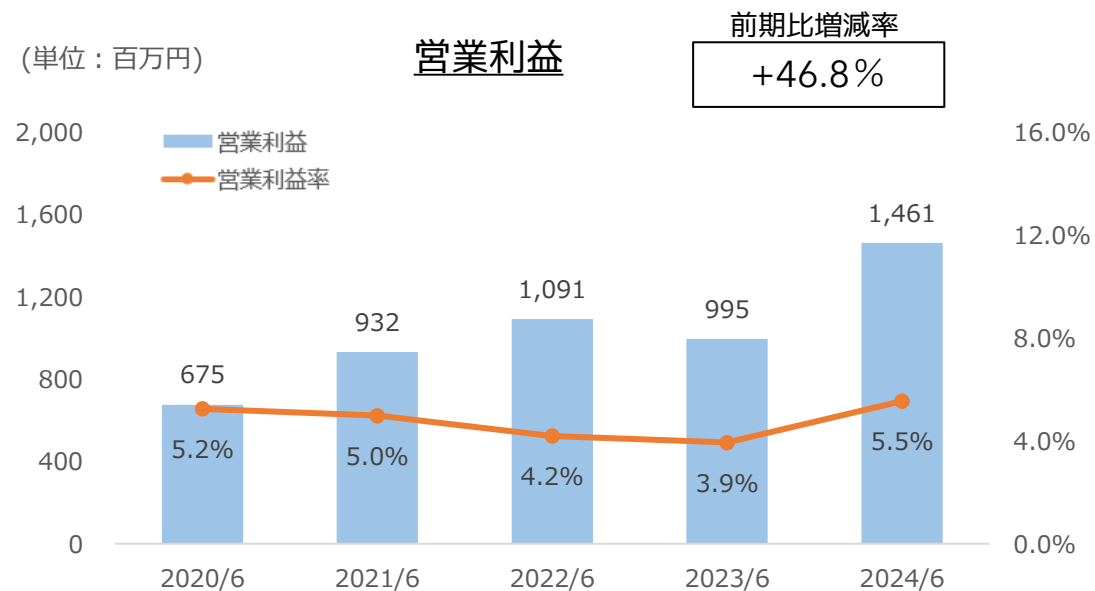
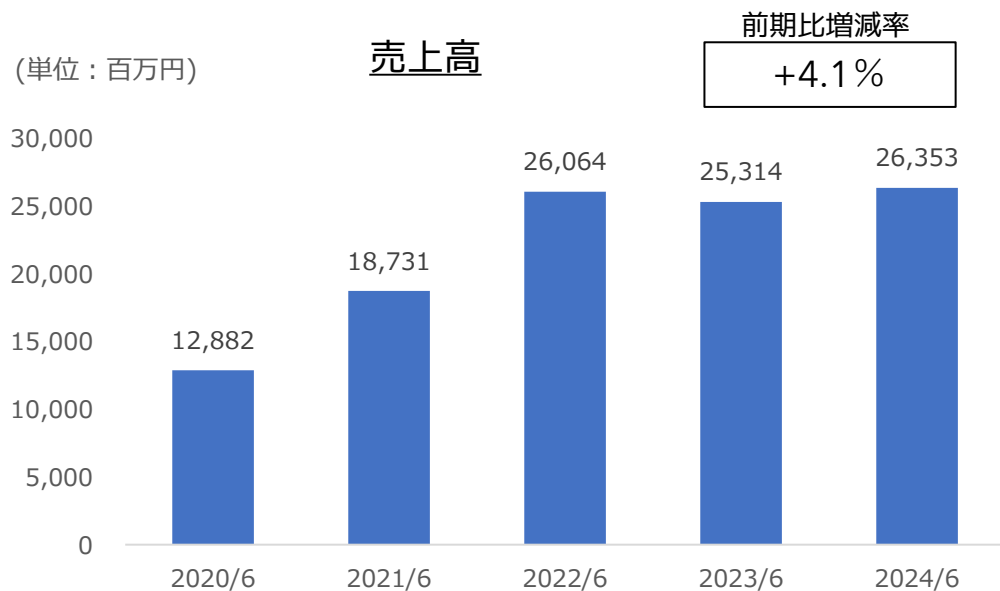
【産業資材第一/第二事業部、グリーンテクノロジー事業部、ライフサイエンス事業部（科学機器）及びグループ会社】

事業部	第3四半期の状況
産業資材	・自動車メーカーの生産好調により売上好調も、利益率は微減
グリーンテクノロジー	・飼料加工機器：機器納入および関連消耗品販売が堅調に推移し、前期比で好転 ・木質バイオマス：大型案件の受注があるも、本体案件のリアライズはなく前期比ダウン ・コスモス商事：海洋開発分野や石油・ガス関連機材が好調。地熱関連機材も復調 ・ワイピーテック：主力商品の需要が弱含み、利益は前期比ダウン
ライフサイエンス(科学機器)	・価格高騰による受注減少や円安の影響で売上、利益ともに前期比ダウン ・スクラムが取扱うバイオ分野の研究支援機器は遺伝子解析関連を中心に前期比で好調



海外現地法人セグメント【アメリカ・中国・タイ・ベトナム・メキシコ・インドネシア・インド】

事業部	第3四半期の状況
海外現地法人	・アメリカ：高機能性樹脂の販売単価下落で減収も、フィルム関連や自動車関連の堅調で増益 ・中国：景気減速の影響を受け、業績は前期比で低調に推移 ・タイ：自動車部品関連が好調で利益に大きく貢献 ・その他地域：メキシコは自動車関連、ゴム関連が好調。ベトナムは掘削資材の新規立ち上げで好調。インドネシアはゴム関連で一時的な需要増があり好調



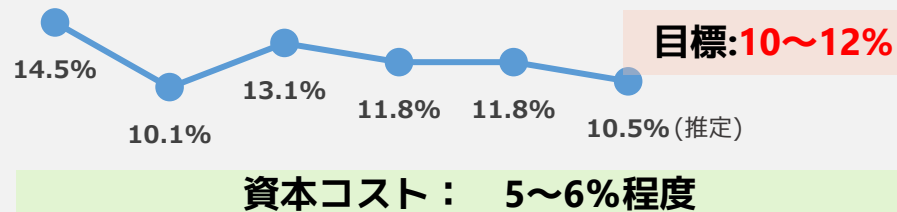
※2024/6期：為替を年間の平均レートで換算しています(変更前：期末日の為替レート)。それに伴い2023/6期の実績を遡及修正しています。

資本コストと株価を意識した経営

- 資本コストは5～6%程度。ROEは資本コストを大きく上回る水準で推移
- 資本コストを上回るROEの水準を継続しながら、PBR > 1の常態化を目指す

現状分析

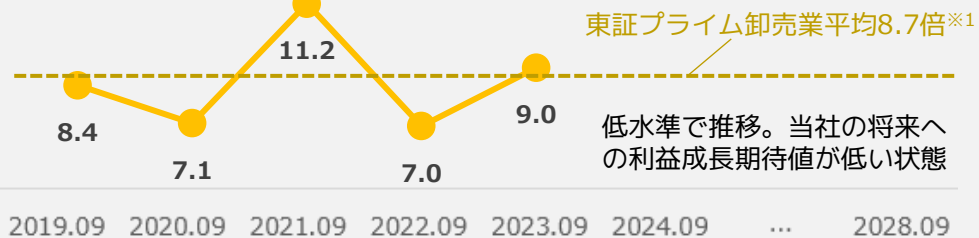
【ROEと資本コストの推移】



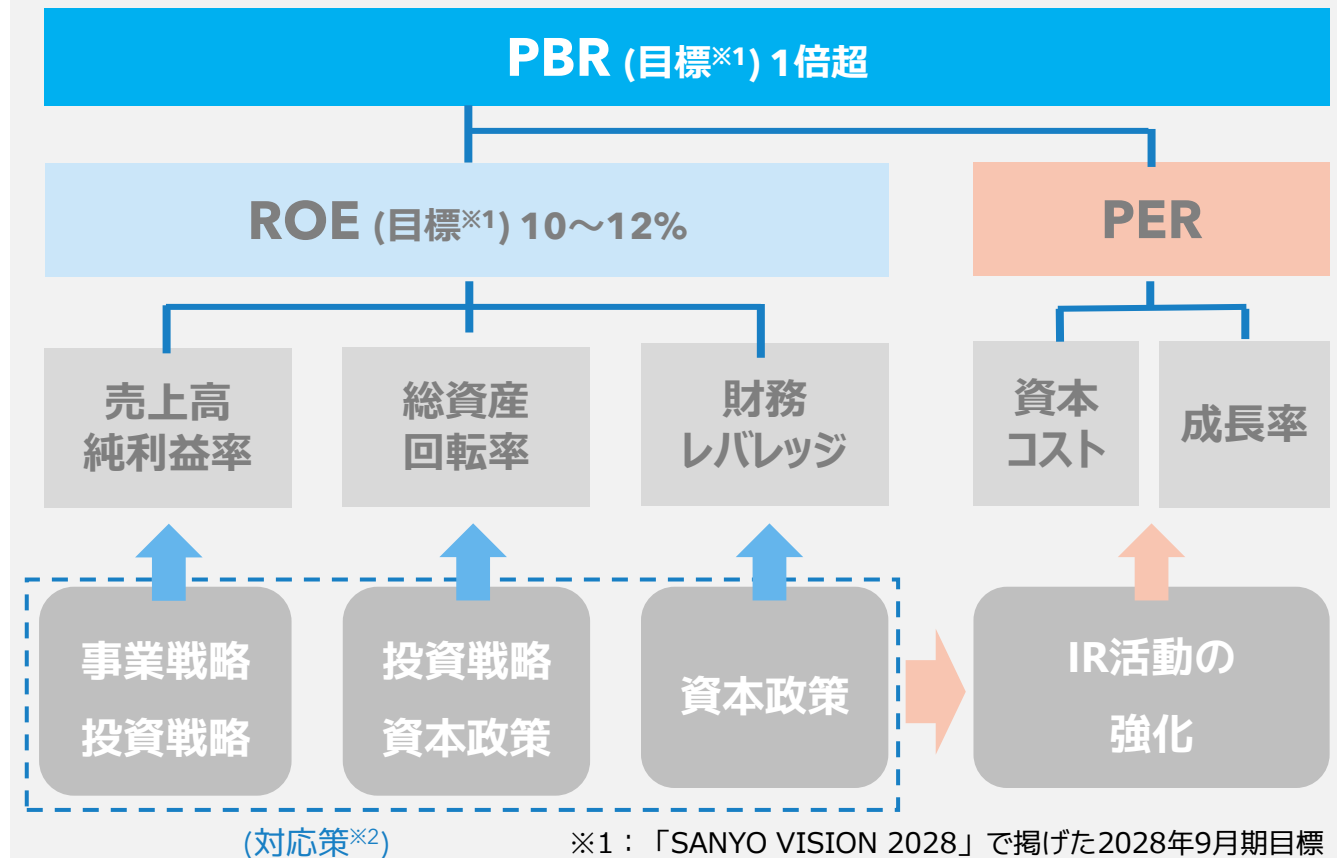
【PBRの推移】



【PERの推移】



PBR目標達成の戦略



※1: 「SANYO VISION 2028」で掲げた2028年9月期目標

※2: 詳細は2Q決算説明会資料に掲載

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2023年9月期4Q (2023.9末)	2024年9月期3Q (2024.6末)	負債の部	2023年9月期4Q (2023.9末)	2024年9月期3Q (2024.6末)
現金・預金	7,031	8,683	支払手形・買掛金	11,838	12,398
受取手形・売掛金等	24,794	26,485	短期借入金	5,381	5,755
棚卸資産	23,429	24,954	その他流動負債	5,441	8,413
その他流動資産	2,033	4,345	長期借入金	333	150
有形固定資産	3,238	3,174	その他固定負債	1,651	2,048
その他固定資産	8,010	9,388	純資産	43,890	48,266
資産合計	68,537	77,032	負債純資産合計	68,537	77,032

【ポイント】

- ・ 運転資金増加、その他固定資産増加を利益及び借入で賄う

	2023年9月期4Q (2023.9末)	2024年9月期3Q (2024.6末)
有利子負債比率	13.2%	12.3%
自己資本比率	63.4%	62.5%

算出方法) 有利子負債比率 : 有利子負債 (※1: リース債務除く) ÷ 自己資本 (※2)
自己資本比率 : 自己資本 ÷ 期末総資産

(※1) 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金
(※2) 自己資本 = 純資産 - 新株予約権 - 非支配株主持分

IRに関するお問い合わせ先

三洋貿易株式会社 執行役員 経営企画部長 難波 嘉己

電話：03-3518-1052 e-mail：ir@sanyo-trading.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Quest for Next